

いろんなイベントで歓迎ムード演出 広がるサミット開催支援の輪

JAL出前講座「そらいく」開く

日本航空主催の地球環境講座「そらいく」が5月18日虻田小学校（小沼和好校長）で開かれ、児童や地域住民約500人が参加しました。



地球温暖化について説明する山田機長

同社が、昨年6月から実施している出前講座で、講師は、ボーイング767の山田光男機長。空からの映した地球の映像をプロジェクターで見ながら、地球温暖化について説明しました。

森林再生に取り組む児童らに グリーンサンタ応援

5月18日胆振支庁などが主催して森林再生教育プログラム「緑はどうなった」が、洞爺湖温泉の噴火遺構内で開かれました。

温泉小学校と壮瞥小学校の児童約20人が参加し、有珠山周辺の在来種を植栽ポットに植えつけました。

作業後には、環境保全を呼びかけているデンマークの環境親善大使「グリーンサンタ」が突然現れ、児童を喜ばせました。



サンタの登場に児童ら大感激

力感溢れる和太鼓の響き

「第8回響きの祭典 in 洞爺湖」（主催国際太鼓道連盟響きの祭典実行委員会）が、5月11日洞爺湖文化センターで開催し、町民約250人が参加しました。

当日は、地元「聖龍太鼓」をはじめ全道各地から14団体が出場。

力感溢れる太鼓のリズムとバチさばきに聴衆は釘付けになりました。



力強い演奏を披露

幅広いレパートリーで聴衆魅了

米国空軍太平洋音楽隊—アジア「パシフィック・レンズ」の演奏会が、5月12日洞爺湖文化センターで町民約400人が参加して開かれ、幅広いレパートリーに会場は大いに盛り上がりしました。

同バンドは、横田基地に所属する7人のメンバーで、国際交流などを目的に、国内各地で演奏会を行っています。

当日は、日本のヒット曲からジャズ、カントリまで幅広い演奏を披露し、多くの聴衆を魅了させました。



ステージで演奏者といっしょに踊る観客ら

環境やさしい電球蛍光灯配布

5月18日、エコ電球に交換する活動が、洞爺湖温泉汽船本社前の広場で行われました。

これは、松下電器産業の協力で、家庭の蛍光灯を、CO₂排出量も電力消費も少ない電球形蛍光灯「パルクボールプレミア」に交換し、

家庭の中からも環境について考えようと町民会議が呼びかけたもの。

4時から、点灯式があり、ストリートの両脇には、配布した蛍光灯を使用し、児童らのメッセージが書き込まれた提灯400個に明かりが灯されました。



環境へのメッセージが書かれたエコ提灯